

広報



2011
(平成23年)

まつざき

8

No.567



峰輪区天王祭 (7/14)

9月1日は「防災の日」です。 防災訓練に参加しましょう！

3月11日、三陸沖を震源とするマグニチュード9・0の国内観測史上最大級の地震が発生しました。

この地震により宮城県栗原市で震度7を観測したほか、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県で震度6強を観測するなど広い範囲で強い揺れを観測しました。



津波被害を受けた岩手県山田町

また、太平洋沿岸を中心に高い津波を観測し、特に東北地方から関東地方では、津波による甚大な被害が発生しました。

この地震では、静岡県沿岸に大津波警報が発表され、松崎町においても、沿岸部の地区を対象に避難勧告を発令しました。幸いにも松崎町では、被害はありませんでしたが、テレビで見る津波の映像は想像を絶するものがありました。静岡県においても、東海地震の切迫性が叫ばれており、いつ起こるか分かりません。地震が発生したとき、まず自分の身を守るには、日ごろから防災意識を高めることが必要です。

9月1日の総合防災訓練では、予知なく突然大きな地震が発生した場合を想定した突

発型の訓練を行います。

各自自主防災会で、地域の実情に合わせた訓練が行われますので、積極的に訓練へ参加し、地震発生時・発生後の自分の行動を確認してください。

地区住民全員が 自主防災組織の一員

東海地震のような大きな地震から自分や家族の命を守るためには、さまざまな災害に備えて、普段から十分な対策が必要です。

しかし、ひとたび大地震が発生すると、災害の拡大を防ぐためには、個人や家族の力だけでは限界があり、危険や困難を伴う場合があります。

このようなとき、地域ぐるみで災害を最小限に抑えるため活動するのが自主防災組織です。自主防災組織には、初

期消火活動、被災者の救出・救助、情報の収集や避難所の運営といった役割があります。

東海地震で予想されるような広範囲の被害が発生した場合、消防、警察、町などの行政機関の対応には限界があります。住民一人一人がそれぞれの地区の自主防災組織の一員という自覚を持ち、日ごろから、地域の皆様が一緒になって防災活動に取り組むことが必要です。

自らの地域を皆で守れるよう、地域内での連携を深め、いざというときに備えましょう。

津波警報・津波注意報が 発表されたら

津波警報や注意報は、次表のとおり、予想される波の高さにより発表されます。しかし、陸上に駆け上がった

た津波には、50センチ程度でも人が立っていられなくなるほどの強い力があります。

また、地形により、予想された高さ以上になることがあります。津波注意報を聞いたときには、海岸に近付かないようにしてください。

津波警報や大津波警報を聞いたときには、すぐに高台など安全な場所に避難してください。

津波による注意報・警報の基準

注意報・警報	想定される高さ
津波注意報	0.5m程度
津波警報	1～2m程度
大津波警報	3m程度～

場所によって違う 身の守り方

緊急地震速報を見聞きした場合や、地震の揺れを感じた場合に取りべき行動は、そのとき自分がいる場所によって違います。いざという時に適切な行動をとれるよう、考えておきましょう。

●家庭では

- ・頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れ、落下物や倒壊物から身を守る。
- ・慌てて外に飛び出さず、揺れがおさまったことを確認し、避難する。
- ・無理をして火を消そうとしない。

●屋外では

- ・ブロック塀などの倒れそうなものから離れる。
- ・看板やガラス窓から離れる。
- ・丈夫なビルのそばにいる場合は、ビルの中に入る。

●自動車運転中では

- ・慌ててスピードを落とさない。
- ・ハザードランプを点灯し、周りの車に注意を促す。
- ・急ブレーキをかけず、緩やかに速度を落とす。

●山やがけ付近では

- ・落石やがけ崩れが発生しそうな斜面から離れる。

●人の大勢いるところでは

- ・係員の指示に従う。
- ・カバンなどで頭を保護する。
- ・割れものが展示されている棚から離れる。

●エレベーターでは

- ・慌てて出口に走り出さない。
- ・最寄りの階に停止させ、すぐに降りる。

●鉄道やバス乗車中では

- ・つり革、手すりにしっかりとつかまる。

家族で

確認しておきましょう

災害は、家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。家族がバラバラにいるとき発生した災害に備えて、安否の確認方法、集合場所などを決めておきましょう。

松崎町の備蓄

平成23年8月1日現在で、松崎町が備蓄している資機材は下の一覧表のとおりです。

【問合せ】

総務課（42） 3963

防災倉庫備蓄資機材一覧表

平成23年8月1日現在

品名	単位	松高	道部	旧中小	旧岩小	旧三小	岩科水防	バス車庫	合計	品名	単位	松高	道部	旧中小	旧岩小	旧三小	岩科水防	バス車庫	合計
防災テント	張り	7	42	5	5	5	10		74	燃料タンク(大)	個	1	1	1	1	1			5
ろ水機	台	1	2	1	1	2			7	燃料タンク(小)	個	1	1	1	1	1			5
発電機(大)	台	1	1	1	1	1			5	折り畳み寝台	台	2							2
発電機(小)	台	1							1	訓練用消火器	個						106		106
真空パック毛布	枚	1,110	74	100	100	60			1,444	土のう袋	枚						400		400
メガホン	個	2	1	2	1	1			7	丸太	本						30		30
大型炊出し器	台	2	2	2	2	2			10	非常用備蓄食料	食	1,586	1,000	1,200	7,200	1,000			11,986
移動式炊飯器	台	1	1						2	乳児用紙おむつS	枚						144		144
簡易トイレ	台	4	5	5	5	5			24	乳児用紙おむつM	枚						120		120
障害者用仮設トイレ	台	1	1	1	1	1			5	乳児用紙おむつL	枚						204		204
ワンタッチトイレ	個							68	68	大人用紙おむつ	枚						960		960
プラスチックトイレ	個							72	72	車載式給水容器(2t)	台	3	2						5
サニータ用スベア袋	枚							5,400	5,400	移動式照明	台	2							2
脱臭剤(液体)	本							250	250	チェーンソー	台	1	1	1	1	1			5
非常用トイレ 排泄物収納袋	枚							1,800	1,800	ブルーシート	枚	210	200	180	190	260	64		1,104
スミコン	缶	10		10	10	10	5		45	白ロープ	巻						3		3
コードリール	台	1		1	1	1			4	トラロープ	巻						3		3
投光器	台	7	1	3	2	3			16	救護所用医療器材	セット	2			1	1			4

後期高齢者医療保険

保険証の更新について

○平成23年8月1日から後期高齢者医療被保険者証（保険証）が変わります。

これまで使用していた保険証は、有効期限が「平成23年7月31日」となっています。

このため、現在使用している「オレンジ色」の保険証は、8月1日から使用できなくなります。

8月よりお使いいただく保険証は、表面の色が「藤色」となり、7月中旬に被保険者の皆様に黄色の封筒で郵送させていただきます。

もし、保険証がお手元に届いていなかったり、記載内容に間違いがあったりした場合は、健康福祉課までお問合せください。



○減額認定証の更新について

限度額適用・標準負担額減額認定証も有効期限が「平成23年7月31日」までとなっています。こちらは昨年度と同様に自動更新されることとなりましたので、対象の方には、保険証と一緒に郵送させていただきますました。もし、保険証の封筒に同封されていなかった場合は、健康福祉課までお問合せください。

また、新しく減額認定を希望される場合は、健康福祉課まで申請してください。

（対象）
世帯の全員が住民税非課税の被保険者の方

○保険料の通知について

平成22年中の所得をもとに決定し、8月中旬に通知させていただきます。

すでに、特別徴収（年金からの天引き）により保険料を4月以降仮徴収させていただいている場合でも、改めて9月中旬に通知します。

○保険料の納付について

新たに後期高齢者医療制度に加入してから6カ月間は、納付方法が普通徴収（納付書での窓口払いまたは口座振替）となります。口座振替の手続きをしていない場合は、送られてくる納付書を持って、お近くの金融機関（ゆうちょ銀行を除く）または松崎町役場にて忘れずに納付してください。

※国民健康保険税が口座振替となっていた方で、引き続き口座振替を希望する場合も、後期高齢者医療制度加入後、新たに手続きが必要となりますのでご注意ください。

制度加入後6カ月を経過すると、年金額が年間18万円以上の方で、後期高齢者医療保険料と介護保険料の合計額が年金額の1/2を超えない場合、保険料の支払い方法が特別徴収（年金からの天引）に変更となります。

なお、口座振替に変更を希望される場合は、健康福祉課にて申請してください。

【問合せ】
健康福祉課（42） 3966

国民年金保険料の

免除制度について

所得が少ないなど経済的な理由で保険料を納めることが困難な場合には、次の制度のご利用をお勧めします。

☆免除制度

本人や配偶者、世帯主の所得によって審査され、所得に応じて保険料の全額または一部が免除となります。

☆若年者納付猶予制度

30歳未満の方に限り、保険料の納付が困難な場合、本人や配偶者の所得によって審査され、保険料の納付が猶予されます。

☆学生納付特例制度

各種学校に在学している期間中、本人の所得によって審査され、保険料の納付が猶予されます。

☆特例免除

配偶者、世帯主の所得によって審査されます。失業していることを確認できる雇用保険受給者証や離職票等が必要となります。

免除・猶予の承認を受けた期間は、保険料を全額納付したときに比べて、将来受け取る年金額が少なくなります。（10年以内であればさかのぼって納めることが可能です。）また、免除・猶予・特例のすべての期間は老齢基礎年金や障害基礎年金、遺族基礎年金を受給するための資格期間に反映されます。猶予については老齢基礎年金の年金額の計算には反映されません。

《出張年金相談について》
年金の請求や加入記録、その他年金に関するご質問がありましたら、この機会にぜひご利用ください。本人以外（家族でも）の相談には委任が必要となります。

日時 9月22日（木）

午前 9時30分～11時30分
午後 1時～2時
会場 環境センター 研修室

【問合せ】
健康福祉課（42） 3966

第16回全国棚田(千枚田)サミットが 最優秀賞(静岡県知事賞)を受賞

静岡県コンベンションおもてなし大賞2011の表彰式が、6月29日(水)、静岡市のグランシップにおいて行われ、全国棚田(千枚田)連絡協議会が主催し、松崎町実行委員会により昨年10月22・23日に開催された「第16回全国棚田(千枚田)サミット」が最優秀賞である静岡県知事賞を受賞しました。

静岡県コンベンションおもてなし大賞とは、県内で開催されたコンベンション(大規模な催し)の中で、「静岡県(地域)ならではの優れた企画や演出が実施されているものを表彰し、広く県内外に紹介、奨励することでコンベンション開催地としての静岡県の魅力を広く情報発信するものです。

棚田サミットでは、町・県職員、各種団体、ボランティア、高校生が受付、案内、誘導を行い、参加者をお出迎え

しました。

開会式では、聖和保育園リーダー鼓隊の演奏、松崎小学校2年生のテーマソングの披露に始まり、静岡県知事の基調講演、事例発表、「棚田保全」「生態系保全」など特色のある分科会を開催しました。

また、交流会では、地元の食材を使って調理した料理や松崎ブランド品の提供、伊豆松崎牛原太鼓の演奏や石部地区に古くから伝わる悪魔払いの舞が披露されました。

見学会では、ボランティアガイドがバスに添乗し案内を行うとともに、おもてなし所には、伊勢海老の味噌汁やトコテン、オリーブ茶が用意され、振る舞われました。

さらに、道路沿いには、地域の方が農具や木製の樽に寄せ植えた花を飾るとともに、地区の人たちが小旗を振って参加者を迎えました。

記念品は、小・中学生が総



表彰を受ける齋藤町長

合学習の時間を活用して作製した「いづこいし」や、石部地区の女性会OBなどの皆様が作製した布製コースターなど、松崎ならではの手づくりの品が配布されました。

今回、このように子どもから大人まで町民一丸となったきめ細かなおもてなしや、地産地消を体感できる飲食メニューを提供したことが評価され、最優秀賞を受賞しました。

棚田サミット開催にあたり、関係者の皆様のご支援、ご尽力に対しまして厚くお礼申し上げます。

【問合せ】

企画観光課(42) 3964

松崎花とロマンの里研究会

川ノリの陸上養殖成功

松崎町の冬を代表する特産品である川ノリの養殖に取り組む有志グループ「松崎花とロマンの里研究会」が、地下水を使った松崎産川ノリの陸上養殖に成功しました。

これまでの取り組み

同研究会は、昨年3月から川ノリの陸上養殖について、調査研究を開始し、スジアオノリの養殖を先駆的に行っている高知県室戸市を視察しました。

その後、スジアオノリの養殖技術を研究開発した高知大学の平岡准教授の指導を受けながら、町内での養殖実験を開始しました。

その結果、直径5³程度の種藻を収穫可能な20倍以上に成長させることに成功しましたが、その過程でさまざまな問題も明らかになりました。

この問題を解決するため、2月に無菌状態に近い地下水での養殖施設に切換え養殖を開始しました。



成長した川ノリを披露する伊東代表

今後の活動について

今後は、冬の風物詩である川ノリを夏の高温期以外の通年にわたり、安定的に供給することにより、地元の料理店や民宿の料理で使っていただき、観光客への認知度を高め、雇用創出や地域活性化の期待がかかる新産業化に向けて活動していきます。

【問合せ】

企画観光課(42) 3964

「高齢者世帯を見守ります」

高齢者見守りに関する協定書締結

松崎町は現在、県内で4番目に高い高齢化率（36・5割）となり、少子高齢化が急速に進んでいます。

また、生活環境の変化などにより、地域住民の繋がりが希薄化し、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増加しています。

近年、全国的にも高齢者の事故、事件が増加していることを考えると、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送ることができる見守り体制の構築が必要となります。



協定を締結し、握手を交わす
齋藤町長と協力事業者

その取り組みの一つとして、

高齢者宅を訪問する機会が多い郵便事業株式会社沼津支店とヤマト運輸株式会社伊豆支店の2事業所にご協力をいただき、協定を締結しました。

この協定締結により、両社の配達員は業務の中で、高齢者宅を訪問する際に、「郵便物がたまっていないか」、「洗濯物が何日も干したままになっていないか」などを確認し、異常があった場合は、町へ連絡をいただきます。

連絡を受けた町は、状況に応じて訪問確認を行うことにより、早期に高齢者への必要な支援に結び付けていきます。



【問合せ】

健康福祉課（42） 3966

100歳のお祝い

山本 八代さん（小杉原）

（明治44年7月20日生）

7月26日（火）、八代さんの自宅を齋藤町長が訪問し、祝い金と記念品を贈呈して、100歳の誕生日をお祝いしました。

齋藤町長からお祝いの言葉を受けた八代さんは、「みなさんのおかげでだいぶ長生きさせてもらっています。」と笑顔で元氣良く話してくれました。



【問合せ】

健康福祉課（42） 3966

松崎文芸

俳句

病など気にせぬやう花柄の衣にけふは
身をまとひたり

手づくりの立ち雛を今年もかざりたり

河津桜をひと枝そへて

わが悩みなど小さくなりたり震災の入ら

遠くより思ひてをれば

災難の多きこの弥生梅の実の小さきが見えて

こころ救はる

時折に雨戸をならしくゆく風に娘からの

電話つい長くなる

朝の陽の差しこむ階段とんとんと事務所に

下りる光を踏みて

想ひ出のたくさんつまるランドセルを差し出せる

子らの潔しと思ふ

網を案じ船を案ずることなくのうのうと

してひとり風の夜

土屋君子

細田光代

高橋栄美

山本智恵子

堀岡洋子

岡村芳子

杉山安紀子

高橋百代

ふるさと納税へのご協力ありがとうございました

昨年度に引き続き、下記の方たちからふるさと納税をしていただきました。

- 山本 陽茂 様（東京都在住）
 - 萩 原 様（東京都在住）
- ありがとうございました。

イベント・催し紹介

- 岩地・雲見海岸花火大会
【日時】 8月15日（月）
午後8時30分から
- 灯ろう流し
【日時】 8月16日（火）
午後7時から
【場所】 ときわ大橋周辺
- 松崎海岸花火大会
【日時】 8月16日（火）
午後8時から

～まちのできごと～

7/2 伊豆松崎海まつり



松崎海岸では、海上安全祈願式終了後に松崎町観光協会主催の「伊豆松崎海まつり」が開催され、約60組の親子が参加し、ビーチフットボールやソリレースの競技を楽しみました。

7/14 天王祭



松崎地区では、地区内の厄除けや五穀豊穡、家内安全などを祈願する天王祭が行われ、地区の幅広い年代の方が参加して、「サンゲ、サンゲ」と唱えながら地区内を練り歩きました。

7/17 雲見温泉無料サザエ祭り



雲見海岸では、毎年恒例のサザエ祭りが開催され、1,000人を超える来場者は合図とともに波打ち際にまかれた300^{kg}、約3,000個のサザエを、一斉に拾い集めました。

7/18 第27回松崎海洋センター水泳大会



松崎海洋センターでは、水泳大会が開催され、町内の小学生77人が出場しました。選手は、学年別に平泳ぎや背泳ぎ、自由形などの種目で練習の成果を発揮しました。

人が集える松崎新港へ

松崎新港は、約20年前から旅客船就航や石材などの積出港、西伊豆地区の防災港としての役割を担うことを目的に整備が進められ、昨年11月に供用開始されました。

しかしながら、近年の経済動向の悪化で旅客船就航は実現が極めて難しくなり、現在では、石材運搬船のみが利用している状況です。こうしたことから、町では、新港湾利用検討委員会を組織し、地域活性化や防災強化に向けた利用方法を検討しています。

防災施設としての活用
松崎新港は、大型船の就航を想定して設計されているため、災害が発生し、道路の寸断などにより地区が孤立してしまつた場合でも自衛隊などによる海上からの支援を受けることができます。また、駐車場や公園は、ヘリコプターの離着陸が可能で、空からの支援も受けることができ、災害時の拠点としてさまざまな訓練を実施しています。

地域活性化への活用

新港湾を活用した地域活性化策として、5月の連休期間に、松崎新港を県から借り受け、防波堤の試験開放を実施しました。

町では、この試験開放の結果を踏まえ、通年開放へ向け、国や県へ要望を行っています。

さらにこの夏は、観光協会が主体となつて、シーカヤック体験会と船によるホテル観賞会を開催しています。

また、9月からは、船による海上からのジオパーク見学会を予定しています。

このように、さまざまなイベントで松崎新港を活用し、多くの人に松崎新港をご利用いただくことは大変喜ばしいことです。

今後も、松崎新港を活用したイベントを積極的に実施していきたいと考えていますので、町民の皆様のご協力とご参加をお願いいたします。

松崎町長

齋藤 文彦

町長室からこんにちは ⑳

町の人口と世帯

(平成23年 6月30日現在)
 ()内は前月比
 総人口 7,894人 (-11人)
 男 3,732人 (-8人)
 女 4,162人 (-3人)
 世帯数 3,136戸 (-5戸)
 転入 12人 転出 15人
 出生 6人 死亡 14人

町の交通事故

平成23年 6月発生分
 ()内は前年同月比
 人身事故 2件 (±0)
 物損事故 7件 (-2)
 死者 0人 (±0)
 傷者 2人 (±0)

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
江奈3	土屋 信有	70	善 則
池代	山本イトエ	91	松 廣
岩地	齋藤 つや	101	ひろ子
北区	関 ともよ	62	大 介
中区	高橋 文明	62	高橋成典
那賀	肥田 博 旻	71	野木沼繁代
石部	高橋 毅	51	靖
江奈1	須田 勇	79	たけ子
宮内	山本 信年	71	清 美
八木山	後藤美知恵	68	邦 博
江奈1	馬場 健治	47	あさみ
江奈3	土田 辰夫	71	とよ子

(6月届出分)
戸籍だより

おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
櫻田	莉々子	女	石川 明
那賀	悠真	男	村田 翔
宮内	玲央名	男	伊藤 宇司
八木山	葉路	女	松岡 俊介
金沢	凌也	男	岡部 良和
江奈4	環	女	小鹿 友希

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

保健師だより

8月は食中毒防止月間です。

夏本番を迎え、食中毒の発生しやすい季節となりました。気温が上がりがり食中毒の原因となる細菌が増殖しやすいことや、酷暑で体力が消耗し、抵抗力が減退することが、夏季の食中毒発生の主な要因です。
 食中毒というと、飲食店での食事が原因と思いがちですが、家庭の食事でも発生します。
 吐き気や腹痛、下痢、発熱の症状が出たら、すぐに病院を受診しましょう。
 食品に食中毒を引き起こす細菌が付着していても、味においも変わらないのが食中毒の怖さですが、簡単な予防方法をきちんと守れば予防できます。

きちんと守って安全に食中毒予防の3原則

- 手をよく洗う
 手から食品に細菌が感染しないよう、トイレの後、調理前、食事前などに十分に手を洗い、ペーパータオルや清潔なタオルで拭きましょう。
- 食品をよく洗う
 野菜や魚介類などは流水で洗い、洗ってから調理すれば、食品に付いているかもしれない細菌を落とすことができます。
- 十分に加熱する
 火を通すべき食品はしっかりと加熱し、細菌を殺しましょう。肉類などは中まで十分に火を通し、加熱したらできるだけ早く食べ、つくり置きをしないようにしましょう。

姉妹都市通信

松本市安曇地区から
 高齢者クラブ連合会の
 市外研修が行われました。

安曇地区の高齢者クラブは、町会単位で活動していますが、大野川だけは鈴蘭と白骨を含んだ範囲に住む対象者で組織されています。

町会単位の高齢者クラブは役員を中心に、それぞれで組織の運営や花壇の手入れなどを行っています。

高齢者クラブ連合会の事務所は、合併直後も引き続き支所の健康福祉課で行っていましたが、他地区と足並みを揃えるため平成20年から社会福祉協議会の安曇地区センターに移管されました。

このことにより、連合会の事業に携われる職員が減り、自主運営への移行も推進されたため、役員にかかる負担も増え、事業の開催が縮小される傾向にあります。

しかしながら、広範囲を移動することが困難な高齢者にとって、離れた町会に住む仲間と定期的に会うことができ

るクラブの活動は貴重なものになっており、毎回50〜100人が参加しています。こうしたクラブの活動は、安曇地区の絆を残すために継続を望む声も多いようです。

高齢者クラブ連合会(炉端の集い)活動スケジュール

- 4月 総会
- 5月 市外研修
- 7月 レクリエーション研修
- 10月 安曇支所長講話会
- 12月 クリスマス・忘年会

(安曇支所 奥原一郎)



高齢者クラブ連合会市外研修の様子



広報まつざき

二〇二一年八月一日発行
 第五六七号

千四〇三六六 静岡県賀茂郡松崎町宮内三〇一ノ一
 〇五〇四二一三九六四 〇五〇四二一三二八三

発行 静岡県松崎町 編集 企画観光課
 印刷 (株)山本印刷